

通学中の事故に気をつけよう！

新学期を迎え、児童生徒の生活環境は大きく変わります。上級の学校ほど、通学のための交通手段が多様化します。慣れない環境でけがなどをしないようにしましょう。

平成22年度に災害共済給付で支給した死亡・障害事故(全585件)のうち、通学中の事故は87件ありました。

通学手段別に分析すると、徒歩が44件、自転車が36件発生していました。

さらに学校種別でみると、中学校と高等学校では自転車での事故が一番多く、特に高等学校では、発生割合が約73.7%になります。

学校種により事故の発生傾向が変わるため、それに合わせた安全教育や事故防止対策が必要です。

○通学手段別件数

(件)

	小学校	中学校	高等学校 高等専門学校	幼稚園	保育所	総計
バス	0	1	0	0	0	1
原動機付自転車	0	0	2	0	0	2
自転車	0	8	28	0	0	36
自動車	0	0	1	0	0	1
自動二輪車	0	0	1	0	0	1
鉄道	0	0	2	0	0	2
徒歩	32	5	4	1	2	44
総計	32	14	38	1	2	87



自転車ではこんな事故が発生！



車輪に物が挟まる！

傘や靴が挟まるケースもあります！

学校種	学年	性別	種別	事例
中学校	3年	女	歯牙障害	自転車で走行中テニスラケットが前輪に挟まった。その際、自転車が急停車し、右前方に転倒し道路で顔面を打った。



スピードの出しすぎ！

下り坂で多く発生しています！

学校種	学年	性別	種別	事例
高等学校	1年	男	歯牙障害	部活動が終わり帰宅途中、坂道を下っていてスピードが出過ぎていることに気づき、ブレーキを急にかけてところ、自転車の後輪が浮かび上がり自転車と一緒に転倒。顔面を強打し、左腕を痛めた。



横断歩道で車とぶつかる！

踏切でも事故が発生しています！



学校種	学年	性別	種別	事例
高等学校	2年	男	死亡 (頭部外傷)	自転車で登校中、信号のない交差点を横断しようとしたところ、出会い頭に自動車と衝突した。